

朝日連峰保全協議会 ニュースレター

発行者：朝日連峰保全協議会

■第12回会合の概要について

令和2年5月19日、朝日連峰保全協議会の第12回会合が、新型コロナウイルス感染防止のために紙面にて開催されました。

会合では、① 令和元年度朝日連峰保全協議会活動報告、② 令和元年度各団体の活動報告及び令和2年度各団体の活動計画、③ 令和2年度朝日連峰保全協議会活動計画、その他の議題について話し合われました。

①令和元年度朝日連峰保全協議会活動報告

令和元年度の登山道合同保全作業の活動等について報告が行われました。

②令和元年度各団体の活動報告及び令和元年度各団体の活動計画

朝日連峰に関わる山岳団体、関係行政機関等の各団体より持ち寄られた、登山道整備や保全活動等の令和元年度活動結果及び令和2年度活動計画の報告、情報提供が行われました。

③令和2年度朝日連峰保全協議会活動計画

令和2年度の合同保全作業は、朝日連峰中先峰近において実施することが検討されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下見を含めて中止とすることが決まりました。

また、保全技術講習会（座学）も中止が決まりました。

④その他

- ・ 山形県みどり自然課より、平成16年度に中止された平岩山避難小屋新設について、協議会の中でもこれまでの経緯や必要性を議論いただき、国による整備をお願いしたいとの意見がありました。
- ・ 庄内森林管理署より、国有林内における歩道等の管理行為は法令に基づく手続きを経てから実施をお願いしたいとの周知がありました。

■令和2年度幹事会の概要について

令和2年12月16日（水）に山形県大江町中央公民館で開催されました幹事会では、令和2年度の活動報告と、令和3年度の計画について話し合われました。幹事会の概要をまとめましたのでお知らせいたします。

議題1 令和2年度活動報告

1. 植生復元作業箇所（三方境）では復元作業実施箇所の植生回復が進み、かなり状況が改善したことが、ニュージェック 川端氏より報告されました。

- ・ 全体的に土砂は安定しているが、一部で新たな侵食が発生している。2019年の台風19号や2020年の豪雨の影響と考えられる。
- ・ 下部エリア、山頂エリア、歩行路の土砂は安定している。
- ・ 上部エリアから中間エリアに新たな侵食が発生している。
- ・ 中間エリアの大型排水工は機能している様子。
- ・ 山頂エリアのヤシロールの風裏側に植生を確認した。
- ・ 昨年確認された植生は、おおむね順調に生育している。
- ・ 土留め本体のヤシ土嚢の一部で植生が消失した。

2. 登山者カウンター報告

朝日鉱泉口、日暮沢口、泡滝口で計測した結果について、羽黒自然保護官より報告されました。

- ・朝日鉱泉口→7月29日～9月17日は豪雨被害で朝日町からの車道が通行止めとなった。
前年比入山者数：6月96%、7月40%、8月25%、9月64%、10月79%
- ・日暮沢口→7月29日～8月11日は豪雨被害のため日暮沢小屋手前4kmで車両通行止めとなった。
前年比入山者数：6月69%、7月43%、8月140%、9月101%、10月359%
- ・泡滝口
前年比入山者数：6月135%、7月64%、8月98%、9月104%、10月114%
- ・古寺鉱泉口は、設置したものの計器の不具合でデータが取れなかった。

3. 山小屋の宿泊者数

各幹事より、令和2年度の山小屋宿泊者数の報告がありました。

大朝日小屋は激減、鳥原小屋は日帰りが増えて減少、竜門小屋は9～10月が多い、狐穴小屋は減少、天狗小屋は大幅に減少、以東小屋昨年400人に対し300人と減少しており関東からの登山者が昨年より多くなっているとの内容でした。

議題2 令和3年度活動計画

令和3年度の活動計画について検討の結果、以下の計画案が第13回会合に諮られることになりました。

活動	日程	場所	内容
第13回会合	5月19日(水)	西川町	令和3年度活動計画等を共有
合同保全作業資材小分け作業	5月下旬から6月上旬	鶴岡市	登山者への普及啓発を兼ねて、公募にてボランティアを募り、資材小分け作業を実施(初めての試み)
令和4年度合同保全作業下見	7月31日(土)～8月1日(日)	小朝日岳から鳥原小屋	令和4年度合同保全作業候補地の下見
合同保全作業	9月11日(土)～12日(日)	中先峰 (H29作業箇所)	破れた土嚢のメンテナンス等
保全技術講習会	未定 (飯豊連峰保全連絡会合同保全作業下見の前日)	小国町	合同保全作業の基本について座学を実施予定。

議題3 その他

1. 登山道保全技術マニュアル作成について

朝日連峰及び飯豊連峰でこれまで取り組まれてきた登山道保全の技術について、現在技術マニュアル書の作成を進めていることが、ニュージェックの川端氏より報告されました。

2. オンラインによる大雪山登山道保全関係者との情報交換

大雪山の登山道保全に取り組む環境省北海道地方環境事務所では、登山道保全に関する情報交換会のオンライン開催を検討しているため、朝日連峰、飯豊連峰関係者にも参加呼びかけがあった際には情報提供すると、ニュージェックの川端氏より報告されました。

3. 風力発電施設について

生態系保護地域や緑の回廊エリアに風力発電の候補地が想定されるので注視していきたいと、山大 菊池氏から意見がありました。

4. トレランについて

トレランの登山者が多くなり、クマと会う危険性が増加していることについて、井上幹事から報告がありました。

5. 幕営について

コロナ禍で、飯豊連峰ではソロテントの増加が著しく、飯豊連峰保全連絡会では、一般の登山者への普及啓発と登山道保全の取り組みを発信する「飯豊フォーラム」の開催について検討することになったと、山大 菊池氏から報告がありました。

6. 総合型協議会について

朝日連峰では、登山道の保全のみならず、各種課題を取り上げて総合的に検討する必要性が高まっており、新たに総合型協議会を設立し国立公園としてのビジョンやあり方を検討していく可能性があることが、東北地方環境事務所 田中統括自然保護企画官より報告されました。

7. 登山者アンケートの実施について

国立公園を利用している登山者に対してアンケート実施していきたいと考えており、その手掛かりとしてwebによる調査を先行させたいと、小国山岳会 井上幹事より報告がありました。

■その他事務局からの連絡について

1. 令和2年度技術部会会合 延期 について

令和3年1月23日(土)、米沢市で開催予定となっていた技術部会は、新型コロナウイルスの非常事態宣言が東京をはじめとする複数県に発令され、複数県から会員の集まる会議の開催は感染リスクが高いと判断されたことから、令和3年度以降に延期されました。

2. 合同保全作業の資材提供について

山形県村山総合支庁環境課より、合同保全作業資材としてヤシ土嚢袋 50 枚を提供いただけるとご連絡いただきました。ありがとうございます。

3. 合同保全作業の資材小分け作業について

令和2年12月16日に開催された朝日連峰登山道保全協議会幹事会にて、合同保全作業資材を事前に小分けして運搬しやすくする作業を、公募でボランティアを募って実施し、登山道保全活動の普及啓発を行うとよいとの意見が出され、令和3年度の5月頃に鶴岡市で実施することを計画中です。詳細が決まりましたら改めてお知らせします。

【発行者】

朝日連峰保全協議会事務局：東北地方環境事務所（増田、澤野）

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 3-2-23

TEL：022-722-2874 FAX：022-722-2872

【参考ホームページ】

・環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料

(朝日連峰保全協議会の会則やニュースレター等)

<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>

・東北地区アクティブ・レンジャー日記

<http://tohoku.env.go.jp/blog/>